あすから鹿児島でサービス開始

品確法対応など支援

建設マネージメントフォーラム発足

学識経験者、建設業ＯＢの技術資格者を集めた技術者集団により、中堅・中小建設業者に対し品確法対応などの支援サービスを行う「建設マネージメントフォーラム（ＣＭＦ）」が発足。４月１日から鹿児島県で活動を開始する。

フォーラムの目標には、「建設マネジメント技術の伝承、適用拡大を通じた幅広い中堅中小建設業・地場建設業界の発展への寄与」を掲げる。

公共工事品確法に基づく「総合評価方式」の拡大、団塊世代がリタイア（２００７年問題）した後の技術伝承、ＣＡＬＳ／ＥＣ対応など、建設業界の課題に対し学識経験者や建設業ＯＢを活用した支援を行う。

建設業界のＩＴ化支援を行っている「建設情報化協議会」（ＣＩＣ、理事・吉田信雄）と鹿児島県の建設コンサルタント「ネレウス」（前田憲一社長）が事務局となり設立準備を進めてきた。ＣＭＦの会長には、山本幸司名古屋工業大学大学院教授が就任する。

具体的なサービスは、▽施工計画・品質管理計画・実行予算などの研修と作成支援▽原価管理・品質管理・安全管理などの技術者教育▽「品確法」への対応教育と提案の作成支援▽ＶＥ提案手法の教育▽ＩＴ化導入・運用支援▽建設ＣＡＬＳ／ＥＣ関連の教育と代行支援―など。

支援サービスについて、ＣＭＦ自体は非営利活動を行う研究機関の立場で、事業活動は行わない。フランチャイズ加盟により加盟者はＣＭＦに登録されている人材スタッフを活用する。その際、スタッフとＣＭＦ加盟者が独立した契約を結び支援サービスを行う。

支援を行うスタッフは、学識経験者・建設業ＯＢを中心にすでに約90人集まっており、鹿児島県内での活動を皮切りに、順次、全国を視野に入れ活動を展開する考え。

問い合わせは、ネレウス（☎０９９・２６７・９７１６）まで。

道路整備費の財源等特例法令を一部改正

４月１日施行

政府は、揮発油税などの道路特定財源の使途を多様化するための「道路整備費の財源等の特例に関する法律施行令」を一部改正し、きょう31日に公布、４月１日に施行する。

これまでの道路特定財源の充当対象である「道路の新設、改築、維持および修繕に関する事業に密接に関連する事業」に、道路の環境対策や情報化のための調査などを加える。

主な追加事業は次の通り。

▽特定自動車（ＮＯｘやＰＭの排出を抑える自動車として国土交通大臣が定めるもの）の購入、またはそれ以外の自動車を特定自動車に改良する場合の費用の助成（貨物輸送用など）

▽道路とその沿道の景観形成の推進に必要な調査

▽駐車場の出入りを管理するシステムなどの整備に掛かる費用の助成

▽ＬＲＴ関連のシステム整備とその調査に対する助成

▽路面・道路状況の情報を収集・提供するシステム（携帯電話、カーナビなどの利用に限る）の高度化調査

▽地震で倒壊した場合に、道路の通行を妨げる恐れがある建築物の耐震改修費用の助成

▽道路新設を目的とする土地区画整理事業・市街地再開発事業のほか、道路交通の円滑化、都市再生のために必要な公共公益施設の整備などへの助成

1・2級造園施工管理技士 受験対策講習会

九州資格協会

5月21日からスタート

九州資格協会は5月21日から、鹿児島市の県文化センターで1・2級造園施工管理技士受験対策講習会を開く。受講は随時受け付けている。

全国建設研修センターが行う1・2級造園施工管理技士は、5月25日から6月8日まで受け付け、1級が9月3日、2級が11月19日に行われる。講習会は、5月21日スタートし、7月30日に1・2級総まとめ、10月15日に2級総まとめとし、1級実地試験講習会についても11月5日に行う。受講料は1級が7万円、2級が6万円（教材費共含む）となっている。

問い合わせは、同協会鹿児島事務所（☎０９９・２６７・９７１６）まで。

CALS／EC資格試験

あすから申込み受付け

日本建設情報総合センター（ＪＡＣＩＣ）は、18年度のＣＡＬＳ／ＥＣ資格試験の日程を発表した。４月１日から30日まで、建設コンサルタンツ協会で受験申し込みを受け付ける。試験日はＣＡＬＳ／ＥＣインストラクター（ＲＣＩ）が東京、大阪会場とも7月30日。

ＣＡＬＳ／ＥＣエキスパート（ＲＣＥ）は、東京会場が7月3から5日、大阪会場が7月11日から13日までのいずれか1日。合格発表は9月29日。

ＲＣＩの講習会（参加は任意）は、7月29日に実施する。

申し込みは、建設コンサルタンツ協会ホームページ（http://www.cals-ec.info/index.html）から申込書をダウンロードし、所定の書類を添付して協会へ郵送（書留、締切日消印有効）もしくは持参。詳しくはホームページを参照。

鹿児島市西消防署松元、郡山分遣隊

あす、発足記念式典

鹿児島市西消防署松元、郡山分遣隊発足記念式典は4月1日、松元分遣隊が午前10時から、郡山分遣隊が午前11時10分から同市の現地で開かれる。

松元分遣隊の場所は、鹿児島市上谷口町１４８１－１。建物規模はＲＣ造2階建延べ４４９・81㎡、総事業費は約2億1000万円。建築本体は上四元工務店、電気設備が松葉電設、給排水衛生設備が中村商会、空気調和設備がオリエント冷機が担当。

郡山分遣隊は同市郡山町１４１３。建物規模がＲＣ造2階建延べ４４９・81㎡、総事業費は約1億9000万円。建築本体は増森建設工業、電気設備が富士電設、給排水衛生設備が南海建設、空気調和設備はトーセツが担当した。

鹿児島造園技術専門校

来月7日、入校式

鹿児島造園技術専門校（坂上久美子校長）は4月7日午前10時から、鹿児島市の同校実習場で普通課程第31期生の入校式を開く。

住宅金融公庫南九州支店

来月3日、鹿児島センターを開設

住宅金融公庫南九州支店は、4月3日から鹿児島市中央町の西鹿児島中央第一生命ビル（4月以降は鹿児島中央第一生命ビルに名称変更）3階に「住宅金融公庫鹿児島センター」を開設する。

同センターは、鹿児島・宮崎両県の住宅事業者への「フラット35」のサービス向上を図るための営業拠点となる。営業日は、月～金曜日（土・日、祝日、年末年始は休業）。営業時間（午前9時～午後5時）。

問い合わせは、住宅金融公庫南九州支店（☎０９６・３８７・３７０２）まで。

来月8日、研修会

設計事務所対象に

わくわくコーポレーション

㈲わくわくコーポレーション（四元重美社長）は4月8日午後1時30分から、鹿児島市の鴨池ＡＣアネックスで住宅・設備会社、設計事務所等を対象とした研修会を開く。定員30人（先着順）、受講料３０００円。

当日は、㈱メディアインターナショナル（熊本市）の福本和敏社長が「お客様の心を即掴める、確かな経営理念繁盛法」と題し講演。建設業界における受注アップの成功事例や経営理念構築にあたってのポイント、時代を見据えた営業手法等について解説する。

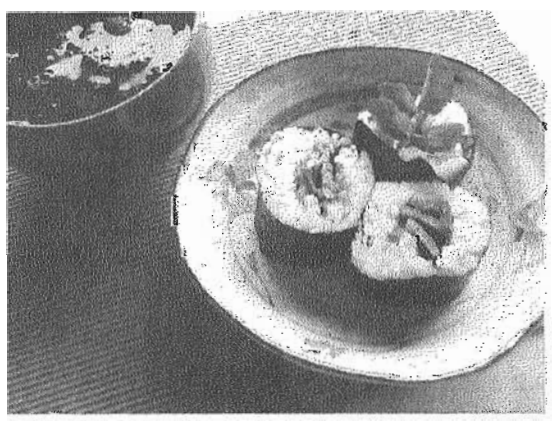
申し込み、問い合わせは、㈲わくわくコーポレーション（☎０９９・２２８・５４１１）まで。

http://cmf.cocolog-nifty.com/management/

レイコの週末キッチン vol.49

今夜の簡単レシピ

甘辛牛肉の巻きずし



甘辛く煮た牛肉と生のクレソンを巻いたのり巻き。太巻きより簡単に具材が準備できるので、手軽です。

◎材料（４人分）

米　２カップ
水　２カップ弱
昆布　５cm角１枚
牛もも肉薄切り　200g
しょうが　１かけ
クレソン　１束
のり　４枚
a（酢1／4カップ　砂糖大さじ２　塩小さじ1／2）
b（水1／2カップ　酒大さじ２　しょう油大さじ２　砂糖大さじ３）

【つくり方】

1、米は少なめの水加減にして昆布を入れて普通に炊き、飯台などに移してaを加えて切るようにまぜて、すしめしを作る。

2、鍋にbを煮立て、薄切りにしたしょうがと食べやすく切った牛肉を入れて甘辛く煮付ける。

3、巻きすの上にのりを広げて①をのせ、中心を少しくぼませて、②とクレソンをのせて端から巻く。

4、しばらくおいてなじませてから、包丁をぬらして好みの厚さに切る。